

なめがた大使 小林光恵さん 書きおろしエッセイ 五感でキャッチ！なめがた漫遊記 第7回

よく来たね

私を含む大人四人と幼稚園児S君とでお出かけ。全員が乗った車中でしりとり遊びをはじめた。〇〇しりとりにはせず。

S君は自分の番になると「うーん」と言って言葉を探し出す。それを受けて大人たちは「ほら、S君が好きな果物とかさあ」とアシストを始める。

座席の関係でS君の姿が見えない私は、考え込んでいる様子を想像しながら、胸の中で善戦を称えた。大人びた言葉を発することが時にあるものの、語彙は年齢なりなわけで、同乗の大人たちに比べて圧倒的に言葉の量が少ないのだから。

と、そこまで考えてハツとした。私も行方市について知る量がたいへん乏しいってことなんだと。

実はこの数日前に、私は行方の地区名しりとりで、しりとりを頭の中でやってみたのだ。するとぜんぜんうまくいかない。行方↓玉造↓り？で止まってしまう、別の「た」始まりの地区名も思い出せない。これは加齢のせいで俳優の名前が思い出せない（三日後に思い出したりする）ことと同じだな、と考え、なんとか自力で地区名を思い出そうとした。

しかしダメで、仕方なくネットで確認すると、たではじまる地区名は玉造だけだったのだ。思い出せるはずがないわけだ。そもそも地区名は、数的にしりとりには無理があることにも気づ

かなかった。遅まきながらこれからしりとり行方の地区名を覚えます！さて、車中でしりとりは続きS君に「よ」が回ってきた。「うーん」が聞こえてきて、大人たちのアシストが始まりそうなの刹那に、S君はポンと言った。「よく来たね」と。

単語ではなく、まさかの文節返し。楽しい感じの声色。誰かにそう言われて嬉しかった記憶があるのだろう、たぶん。なんだか、グツとききました。ハツとしてグツときた、秋の日曜日。

小林 光恵さん



行方にまつわるなんでも、のしりとりなら、農作物とか建物名とか、風習とか、地元言葉とか、行方らしさが見えてきそうです。

行方市出身。つくば市二の宮在住。秋があっという間に過ぎてしまい、金木犀の香を感じたのはたった一日でした。冬の朝のおいを味わうために12月には早起きしてみようと思います。

市公式ホームページ内で「行方帰省メシ」連載中。
サイトはこちらから▶



地域おこし協力隊

連載コラム⑦

地域おこし協力隊の田沼絢子です。今年も残すところ1カ月ですね。今年の冬は暖冬でしょうか・着任した年の冬、あまりにも寒くて驚きました。冬の準備をしっかりと、風邪などひかないように心がけたいと思います。

さて、10月19日（土）・20日（日）に天王崎公園で、なめキャン2024を実施しました。1回目のキャンは「防災キャンプ」と題し、まき割りや火おこし、防災クイズなど、さまざまな防災にまつわるコンテンツを用意し、参加者の皆さんに楽しく、そしてしっかりと「防災」について学んでいただきました。

初日は風が強く、夜は雨。コンディションはよくありませんでしたが、多くの参加者に楽しんでいただきました。毎年、天王崎公園のキャンプを楽しみにしています！や、行方市はいつ来てもいいところだね！など、参加者の皆さんから多くのうれしいお言葉をいただき、私たちもとてもうれしい気持ちになりました。

当日の運営は、NPO法人鹿行地域



▲田沼 絢子 隊員

【令和2年7月1日～現職】
なめテレの普及活動や次世代情報発信を担当。鹿行地域おこし協力隊の連携にも力を入れている。

おこしLab.のメンバーで行いました。それぞれ活動する地域や活動内容は異なりますが、なめキャンを通して、一体感を持って準備や運営を行うことができ、そして参加者のみなさんに喜んでもらえて良かったです。

これからも多くの人に行方市の魅力を感じ取ってもらい、訪れる人が増えるといいなと思っています。協力隊退任後も行方市に残りますが、これからも精力的に行方市の魅力を発信していきたいと思います。それでは、2月号でまたお会いしましょう。

（次号は、佐藤晶が担当します。）



▲なめキャンを運営したNPO法人鹿行地域おこしLab.のメンバーと